

水産業再生ニュース（第 4 号）

平成 26年 7月10日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 宮城県内の水産物の放射能測定結果について

- 1 測定年月日 平成26年6月11日～平成26年7月8日
- 2 測定分析機関 宮城県, (株) 静環検査センター, (一財) 日本食品分析センター, (公財) 海洋生物環境研究所, (一財) 日本冷凍食品検査協会, (株) 環境総合テクノス, 東北緑化環境保全(株), (一財) 宮城県公衆衛生協会, (株) 総合水研究所, いであ(株), (公財) 日本分析センター。
- 3 測定結果

宮城県内で平成26年5月27日から平成26年7月6日に採取したスズキ, ヒラメ, アワビ, アユ, イワナなどの水産物223検体について, 放射能を測定した結果, **すべての検査品目について, 基準値を下回り, 安全性に問題のないことが確認されました。**

2 5月の塩竈市魚市場の水揚げ状況

・平成26年5月の水揚量は, 数量で1,071トン, 金額では482,788千円で, 前年同期と比較して, 数量で20トン, 金額では48,207千円の減少となりました。

これは, 刺し網で漁獲されるヒラメや定置網で漁獲されるメジマグロの水揚げが好調なもの, 陸送で搬入されるクサカリツボダイなどの水揚げの不振が影響したためです。

塩竈市魚市場水揚げ状況 (平成26年1～5月累計)

区 分	平成26年		平成25年		対 比	
	数量 (トン)	金 額 (千円)	数量 (トン)	金 額	数 量	金 額
1～5月の累計	4,277	2,173,460	4,147	2,267,007	103%	96%
(うち 5月)	(1,071)	(482,788)	(1,091)	(530,995)	(98%)	(91%)

3 塩竈市魚市場でマグロやヒラメの水揚げが盛んです

・塩竈市魚市場でマグロの水揚げが始まりました。6月23日には鳥取県境港船籍の巻き網漁船「第58海幸丸」がクロマグロ165tを, 7月1日には静岡県焼津市船籍のカツオー一本釣り船「第八豊国丸」がビンチョウマグロ(冷凍)を320t水揚げし, 魚市場は大いに沸きました。

特に, クロマグロは新潟沖で漁獲された生マグロで, 日本海で漁獲されたマグロが塩竈に水揚げされるのは珍しいとのこと。7月以降, 三陸沖のマグロ漁が本格化してくることから, 今後の水揚げに期待が高まっています。

沿岸ものでは, 塩竈市寒風沢の刺網漁船7隻が連日仙台湾で漁獲されるヒラメを水揚げしています。

今年のヒラメは豊漁で魚体も大きく、海況も良いことから毎日1隻当たり500kg~700kgを水揚げしているとのことですが、連日の大漁のため、活魚で1kgあたり400~600円程度と価格は安めで、漁業者からはもう少し価格が高ければとの声も聞こえています。



ビンチョウマグロの水揚げ風景



刺網で漁獲されたヒラメ

4 アサリ増殖の取り組みが各地で進められています

・昨年8月に「袋網・ケアシェルを使ったアサリ増殖方法」について、三重県鳥羽磯部漁協浦村支所アサリ研究会および（独）水産総合研究センター増養殖研究所を講師として勉強会が開催されました。

この方法はカキ殻粉末を小石大に固めたケアシェルを袋網に詰め、干潟に設置するだけで天然のアサリ稚貝がケアシェルの際間に棲み着くことから、今年に入り松島湾内各浜の地先でこの方法を応用した取り組みが進められています。

宮城県漁協塩釜市浦戸支所では若手グループがカキ殻と碎石を入れた袋網を1,000袋以上作成し桂島の白崎浜に設置しました。同宮戸西部支所では青年部として約100袋を波津々浦に設置しています。また同七ヶ浜支所青年部も馬放島にケアシェルと碎石を用いた袋網約100袋を設置しました。他の漁協、支所でも独自に取り組みを進めているところもあるようです。今後アサリ着底の最盛期となりますがこれらの取り組みがうまくいき、松島湾のアサリ資源の増大につながることを期待されます。



浦戸桂島での袋網設置状況